

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 自己関連疾患を制御する末梢自己反応性 CD4+T 細胞についての包括的理解
2. 研究代表者： 田中 伸弥（九州大学 生体防御医学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、自己反応性 CD4+T 細胞に着目し、自己免疫反応、ガン免疫など自己の認識に関連した疾患における機能、役割を明らかにすることを目的とし、自己反応性 CD4+T 細胞の分子制御メカニズムを解明して、自己反応性の制御を可能とすることを目指す。フェーズ 1 では必要なアッセイ系、モデルマウスを確立し、データの取得を進める等、着実に研究を進めた。フェーズ 2 では、自己反応性 CD4+T 細胞における寛容”解除”の分子機構を明らかにするとともに、自己反応性 CD4+T 細胞のがん免疫監視における役割の解明等を進める事で、自己反応性を自在に制御するための基盤を創出することを期待する。

以上